

船舶事故等調査報告書

平成22年8月26日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010門第58号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成22年2月19日 17時50分ごろ	
発生場所	宮崎県延岡市 島毛燈台標から真方位072° 1.3海里付近 (概位 北緯32° 36.0′ 東経131° 48.0′)	
事故等調査の経過	平成22年4月15日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	<p>A 押船 第二十一^{てんゆう}天祐丸、62トン 133649 有限会社天祐海運</p> <p>B 台船 ^{てんゆう}天祐三十二号、約60m なし、有限会社天祐海運</p> <p>C 押船 第三十五^{ぜんとく}善徳丸、19トン 292-39847佐賀 有限会社善徳丸建設</p> <p>D 台船 第三十六^{ぜんとく}善徳丸、約50m なし、有限会社善徳丸建設</p>	
乗組員等に関する情報	<p>A 船長、五級海技士（航海）</p> <p>C 船長、一級小型船舶操縦士</p>	
死傷者等	なし	
損傷	<p>B 右舷船首部凹損</p> <p>D 左舷船尾部ブルワーク曲損、甲板上構造物左舷側凹損</p>	
事故等の経過	A船は、船長Aほか4人が乗り組み、B船を押して、約6～7ノット(kn)の対地速力（以下、速力という。）で自動操舵により北北東進中、C船は、船長Cほか2人が乗り組み、D船を押して、約6knの速力で自動操舵により北進中、延岡港東方沖において、平成22年2月19日17時50分ごろ、B船の右舷船首部とD船の左舷船尾部とが衝突した。	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 西、風力 3、視界 良好</p> <p>海象：波高 約50cm、潮汐 上げ潮の初期</p> <p>日没時刻：18時04分</p>	
その他の事項	船長Cは、A船が追い越しやすいよう速力を減速した。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>A あり、C なし</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>A船は、B船を押して延岡港東方沖を北北東進中、船長Aが、前方の適切な見張りを行わなかった可能性があると考えられる。</p>
原因	本事故は、延岡港東方沖において、A船がB船を押して北北東進中、C船がD船を押して北進中、A船がC船を追い越す態勢で接近した際、A船が適切な見張りを行わなかったため、B船とD船が衝突したことにより発生した可能性があると考えられる。	

